事例No.	2051
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	福岡県粕屋町

事例区分	DX

タグ	・教育・子育て ・ICT

事例種類	子育て

事例内容・タイトル

ＩｏＴを活用したこどもの見守り・安全確保

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

71 IoTを活用したこどもの見守り・安全確保【福岡県粕屋町】

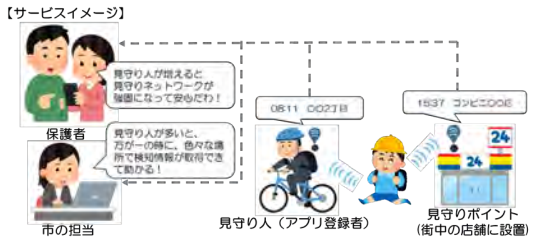
事業の概要

○ 粕屋町では、子どもの安全を確保し、安全で安心なまちづくりを推進するため、九州電力送配電（株）が提供するQottaby（キューオッタバイ）のシステムを利用し、地域の方々の協力を得ながら粕屋町全域に見守りネットワークを構築した。

○ 見守り端末機を持った児童が、地域に設置した見守りポイント（基地局）や見守りアプリの登録者付近を通過することで、位置情報が記録される。

○ 記録された位置情報は一般に公開していないが、行方不明などの有事に限り、町から警察に位置情報を提供することで、事件の早期解決を図る。

○ サービスには無料と有料のものがあり、有料サービス利用の保護者は、事前に設定した基地局の通過時に通知を受け取ることができる他、位置情報・行動履歴マップ閲覧も可能となる。





【参考情報】 人口：4.8万人
関連URL：
https://www.town.kasuya.fukuoka.jp/s013/020/050/020/20201116115518.html （町HP）

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



九州電力株式会社福岡支店と締結した「安全安心まちづくりに関する包括連携協定」に基づき、IoTを活用した地域全体での子どもたちの見守り強化に関する手法を検討しました。

（粕屋町）



事業の近況を教えてください。



町内の小学校、企業、店舗、電柱等に基地局（102箇所）を設置し、町内の全小学生に見守り端末機を配布しています。

令和４・５年度の２年間で基地局を100箇所程度増設することとしており、包括連携協定を締結している企業、町民に見守りアプリの登録を積極的に呼びかけて、位置情報取得の精度を上げ、さらなる利便性の向上につなげていきます。



これから事業を考えている自治体に向け、一言お願いします。



昨今、「ながら防犯」という言葉がありますが、地域を巻き込んで「安全安心なまちづくり」を継続的に実現するためには、どれだけ負担を少なくするかが重要です。今回は、IoTを活用し、スマートフォンのアプリを起動するだけで、地域全体での「安心安全なまちづくり」が実現できました。

★担当：粕屋町総務部 協働のまちづくり課★

令和3年度事業費　1,452千円